

線と安慶名4区線の継続事業を推進します。

住環境の整備については、建築確認業務の適正化と迅速化を図ります。

また、市営住宅については、住宅用火災警報器の設置事業を推進するなど、公営住宅の適正な管理に努めます。

上水道事業については、石川地区と与那城地区のマップピングシステムを整備し安定供給に努めます。

また、引き続き漏水調査を実施するとともに、ブロック化や老朽管の布設替えを行い、有収率の向上を図ります。

公共下水道事業については、これまでに整備された接続可能な地域の啓発活動を推進し、接続率の向上に努めるとともに、市街地での浸水防止対策として、雨水幹線の整備を行います。

米軍基地に起因する事件、事故等については、これまでも国や県及び関係機関との連携を図りながら、未然防止に努めてきましたが、日

米地位協定の運用改善だけでは具体的な成果が見られないことから、協定の見直しを含め抜本的な対策を求めていきます。

また、米軍再編の状況を見極めながら基地従業員の雇用対策や新たな地域振興策を講じるよう、国へ求めていきます。

なお、「石川楚南返還地区等跡地利用計画」については、引き続き地権者等との合意形成を図りながら、事業化に向け取り組みます。



市内には不法投棄が行われている悲しい現状がある

廃棄物処理については、新たに策定される「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、廃棄物排出の抑制及び資源化に努めます。

また、不法投棄対策、野犬・ハブ対策、公害防止対策として、地域住民の理解や関係機関との連携協力を得ながら、パトロール等監視活動の強化及び指導啓発の充実を図り、市民の生活環境の保全に努めます。

EMについては、循環型社会を目指した長期的視野のもと、市内全域に事業を拡大し「環境にやさしいやしのまちづくり」をNPO環境団体などと連携し推進します。新・省エネルギー事業につきましては「観光振興地域における次世代エネルギーパーク事業詳細ビジョン」に基づき、今後とも新・省エネルギー事業を推進します。

2、郷土に誇りを持ち、明日のうるま市を支える人を育てます。

郷

土に誇りと愛着を持ち、「ジリツ（自立・自律）」した市民を育むことは本市の発展にとって重要です。誰もが自由に学び、活動できる学習環境の整備・充実

を図ることにより、明日のうるま市を担う人づくりを推進します。

学校施設については、安全・安心で快適な施設確保に努めるとともに、引き続き津堅小・中学校校舎、中原小学校校舎、屋内運動場及び水泳プール、田場小学校屋内運動場の増改築事業等を実施します。

また、学校用地取得事業にも着手します。

学校適正化については、「うるま市教育振興推進委員会」の答申のもとに基本方針を策定し、教育環境の整備に努めます。

また、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な就学援助を行い、義務教育を円滑に遂行します。

学校教育については、「明日を拓く夢のある人材育成」を目指して、学校・家庭・地域が一体となり知・徳・体・食の調和のとれた心豊かな幼児児童生徒の育成に努めます。学校においては、学力向上に向けて多様な学習方法の工夫改善、「魅力ある授業づくり」の実践を通して、確かな学力の定着を図るとともに、創意工夫を生かした特色ある学校づくりに向け取り組みます。

特別支援教育については、支援を要する幼児児童生徒の自立や社会参加に向けて支援を行います。